

令和6年度 内子高等学校 シラバス

教科	国語	科目	文学国語	単位数	2単位 3単位	学年	2学年
教科書	新文学国語(三省堂)		副教材等	新国語総合ガイド(京都書房)			

1 学習の目標

- ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。
- ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- ・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	1 発想と感覚 二十億光年の孤独 虹の雌雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解します。</li> <li>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えます。</li> </ul>	中間調査
	2 読みの深まり 予感 雉始雌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めます。</li> <li>・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察します。</li> </ul>	
	3 人間の姿と心 山月記 デューク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにします。</li> <li>・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めます。</li> </ul>	期末調査
第2学期	4 作品の挑戦 少年という名前のメカ バースデイ・ガール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解します。</li> <li>・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈します。</li> </ul>	期末調査
	5 意味と解釈 こころ 物語もつと深読み教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めます。</li> <li>・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めます。</li> </ul>	
	6 近代の創造 永訣の朝 たけくらべ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めます。</li> <li>・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察します。</li> </ul>	
第3学期	7 史実と虚構 項羽と劉邦 - 「史記」を読む 花山天皇の退位 - 「大鏡」を読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めます。</li> <li>・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めます。</li> </ul>	学年末調査

3 評価の規準

【知識・技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

【思考・判断・表現】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

#### 4 評価方法

学期ごとに、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、定期考査、小テスト、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cで評価します。

#### 5 学習のアドバイス

言葉に興味を持ち、分からない語句があれば辞書を引いて調べる習慣を身に付けましょう。また、積極的に文学作品を読むことを心掛け、作品が成立した背景を知ったり、関連した他の作品に触れたりしてみましょう。